

評価基準

評価項目		提案書類	評価の視点・判断基準	配点
組織評価	履行実績 ※	業務等実績調書 (様式ウ)	令和2年4月から令和7年3月末までに完了した業務について、同種業務の実績がどの程度あるか、件数だけでなく、実績の内容・成果が本業務にふさわしいか等を総合的に評価する。 ※同種業務とは、若年層を主な対象とした国、地方自治体又は企業・団体等のプロモーションに関する業務又はそれに類する業務をいう。 5点:同種業務の実績(内容・成果)が5件以上ある 3点:同種業務の実績(内容・成果)が2件以上5件未満ある 1点:同種業務の実績(内容・成果)が1件ある	5
	実施体制	組織調書 (様式イ)	業務に応じた担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できるか等を総合的に評価する。 5点:担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できる 3点:担当者の配置や構成は明確である 0点:担当者の配置や構成が明確でない	5
担当者評価	主任担当者及び担当者同種業務の実績 ※	配置予定者調書 (様式エ)	主任担当者及び担当者の同種業務実績がどの程度あるかを評価する。 5点:主任担当者及び担当者1名以上に同種業務実績が5件以上ある 4点:主任担当者及び担当者1名以上に同種業務実績が4件ある 3点:主任担当者及び担当者1名以上に同種業務実績が3件ある 2点:主任担当者及び担当者1名以上に同種業務実績が2件ある 1点:主任担当者及び担当者1名以上に同種業務実績が1件ある 0点:主任担当者又は担当者全員に同種業務実績がない	5
実施方針等評価	業務理解度	業務等の実施方針 (様式カ)	本業務の目的、内容の理解度を評価する。 10点:本業務の目的、内容を十分に理解している 5点:本業務の目的、内容を理解している 0点:本業務の目的、内容の理解が不十分である	10
	業務手順	業務等の実施手法 (様式キ)	(1)業務実施手順を示すフローの妥当性が高い場合、(2)業務実施のスケジュールの妥当性が高い場合に評価する。 5点:(1)、(2)のいずれにも該当する場合 3点:(1)、(2)のいずれかが該当しない場合 0点:(1)、(2)のいずれにも該当しない場合	5
提案内容評価	プロモーションの戦略立案	企画力	これまでのプロモーションにおける課題を明確に示し、具体的な改善策のある提案であるかを評価する。 10点:非常に優れている 8点:優れている 6点:標準的である 4点:やや劣っている 0点:非常に劣っている	10
			根拠等に基づき、ターゲットの思考やニーズ等を把握し、そこにマッチする提案であるかを評価する。 10点:非常に優れている 8点:優れている 6点:標準的である 4点:やや劣っている 0点:非常に劣っている	10
	情報発信	拡散力	情報の認知、拡散が期待できる提案であるかを評価する。 10点:非常に優れている 8点:優れている 6点:標準的である 4点:やや劣っている 0点:非常に劣っている	10
		訴求力	SNS等の特徴を理解したうえで、前項のプロモーション戦略に基づき、長崎で働く魅力や企業の強みをPRできる提案であるかを評価する。 10点:非常に優れている 8点:優れている 6点:標準的である 4点:やや劣っている 0点:非常に劣っている	10
	自由提案	新規性 独創性	業務目的を達成するための効果的なプロモーションまたは業務全体のPRにつながり、提案事業者のノウハウや知識、経験などを生かした創意工夫が見られ、新規性や独創性の高い提案であるか評価する。 20点:非常に優れている 16点:優れている 12点:標準的である 8点:やや劣っている 0点:非常に劣っている	20
参考見積	業務コストの妥当性 ※	参考見積書 (様式オ)	業務コストの妥当性について評価する。 配点×最低見積額÷見積額(小数点切り捨て)	10
合計				100

- 「※」の評価項目はヒアリング前に事務局にて審査する。
- 合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。合計点が最も高い者が複数いる場合は、「提案内容評価」の合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。さらに、その複数者の「提案内容評価」の合計点が同点となった場合は、参考見積金額が最も低い者を、さらに、その複数者の参考見積金額が同額であった場合は、くじにより受託候補者を特定する。
- 「提案内容評価」において、いずれかの項目について委員全員の配点が0点のものがある場合、または委員全員の評価の合計点が満点の2分の1未満の場合は、受託候補者として非特定とする。